

# 樺細工に無限大の可能性を

有限会社 富岡商店

〒014-0325 秋田県仙北市角館町東勝楽丁2-2  
TEL 0187-56-3239 FAX 0187-56-3826 / <https://tomioka-shoten.com>



## 伝統×革新 樺細工 新ブランド「KAVERS」誕生!

「“KAVERS”で  
世界でただひとつの  
お気に入りを見つけ  
てください」と  
富岡さん



### 応用力を秘めた新しい伝統工芸のカタチ

角館町で樺細工づくりを営む富岡商店では、「一生に一つ」使い続ける豊かさの提案をコンセプトに、伝統的な樺細工の他にも様々なデザイナーや企業とコラボし、現代的でユニークな商品を生み出している。その中でも際立って革新的なのは、今夏誕生した新ブランド“KAVERS”だ。

「樺細工の特徴は、材料となる美しい山桜の樹皮にあります。しかし、年々入手できる良質な材料が減ってきていたり、市場そのものが縮小傾向にあったりと課題は多く、新たな事業を打ち出さないといけないと強く感じていました」。

特に富岡社長が考慮したのは、既存のラインナップよりも小さく作り出し、付加価値を高めること。稀少化が進む樹皮を守りつつ、ビジネスに乗せられる方法を模索していた。

「始めは根付けなどの小さなお土産品の開発を自前で考えていましたが、ブランド構築やPR戦略等も含めてもっと大きな展開にしたいと考え、センターに相談しました。やりたいことやできることを整理した後、引き合わせていただいた秋田市のデザイン会社から新たなアイデアを提案いただき、この“KAVERS”が生まれました」。

樺細工の魅力である樹皮に日本の伝統文様の加工を施し、“ひとつとして同じものがない”“どんなサイズにも応用できる”今までにない商品。樹皮の味わい深さと幾何学

模様の規則性が絡み合うデザインの新たな境地は、多くのパターンとカラーを揃えたことで加工技術の試行錯誤があったものの、反響は非常に大きかった。

### 初進出のアパレル業界向け展示会で大反響

“KAVERS”の第一弾としてプローチを発表。センターの勧めで今年の9月、初めてアパレル業界向けの展示会に出展したところ、すぐに問い合わせが舞い込んだ。

「今までと全く違う分野だったので不安もありましたが、それを吹き飛ばすような反響の多さに驚きました。来場企業の方々から様々な形でコラボができないかとお話をいただいております、新たな流通経路も見えてきました」。

既にヨーロッパでの展示会も予定している。アイデア次第で無限の可能性を見せる“KAVERS”は樺細工の新たな魅力をまとい、今、世界へ躍動する。



材料となる樹皮。それぞれが違った表情を見せる。



事業概要

産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言やデザイナーとのマッチング、コーディネートを行います。

お問い合わせ

知財・デザイン支援課  
TEL.018-860-5614